

環境通信 第24号 (3月号)



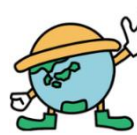
令和6年3月発行（年4回発行）・発行元：大分市環境対策課・地球温暖化対策おおいた市民会議



みらいさん

…環境問題に関心がある社会人

登場人物



アスまるくん

…大分市地球温暖化防止キャラクター
「地球（アース）の明日（あす）をまもる」ため、
大分市にやってきた。環境問題や地球温暖化対策にくわしい

木はすてきだな！「木」がテーマの絵本を紹介します！

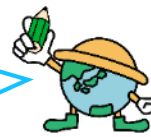


みらいさん

春がやってきますね。
四季折々に美しい姿を見せてくれて、心癒してくれる木々は、私たちの命を支えてくれる大切な存在でもありますね。

地球沸騰といわれる地球環境の問題を解決するためにも、私たちの暮らしのまわりに、よりたくさんの木が必要なんだよ。

木の成長を描いた本や、木を育てる本を読んで、人間と木々の関係について考え、身近な木を大切に作る気持ちも育ててみよう。



アスまるくん

タイトル たったひとつの ドングリが
—すべてのいのちをつなぐ—

出版社 評論社
作者 ローラ・M・シェーファー/アダム・シェーファー 作
フラン・プレストン=ガノン 絵
せな あいこ 訳

たったひとつのドングリが、木に育ち、その木に鳥が巣を作り、落ちた種から花が咲く。この絵本は美しいイラストと簡潔な言葉で命の巡りを優しく描き出しました。森の小道を辿ると木や花の種、そして動物が互いの命を見事に支えあっているのを知ることが出来るでしょう。

(表紙絵、紹介文引用：評論社HP)



対象年齢 3歳・4歳・5歳～

所蔵

大分県立図書館：子ども絵本
大分市民図書館（J:COMホルトホール大分内・コンパルホール分館）
佐賀関公民館、坂ノ市公民館、南大分公民館、野津原公民館



自然の素晴らしさ伝えたいときにぴったりな絵本。
1957年にコールドコット賞（アメリカ合衆国の児童文学賞）を受賞し、長く読み継がれている絵本です。
皆の暮らしに木がもっと身近なものになればいいなと思います。大人の方も、昔、登った木やかくれんぼした木を思い出すのでは。



タイトル 木はいいなあ
出版社 偕成社
作者 ユードリイ（ジャンス・メイ・ユードリー）作
シーモント 絵
西園寺 祥子 訳

子どもの目で見えた木のある生活への讃歌が、さわやかな水彩画でおおらかに描かれています。作者の保育体験から生まれた絵本です。

(表紙絵、紹介文引用：偕成社HP)

対象年齢 5歳・6歳～

所蔵

大分県立図書館：優良図書見本、すいせん乳幼児、読み聞かせ文庫
大分市民図書館（J:COMホルトホール大分内・コンパルホール分館）
鶴崎行政センター、明治明野公民館、大分南部公民館、南大分公民館、植田行政センター、大南公民館



お子さんと一緒に楽しく読み進められるよう、本の作りにもこだわりがある仕掛けがいっぱいの参加型絵本です。
一本の木の物語から、四季を感じることもできます。

タイトル ふしぎなふしぎなまほうの木 さわってごらん！

出版社 ひさかたチャイルド
作者 クリスティ・マシソン 作
大友 剛 訳

絵本を開くと、裸の木が立っています。「さわってごらん」。読者が木にさわってページをめくると、なんとそこには一枚の葉が芽生えています。さらに、その木に4回さわってページをめくると、4枚の葉が。

文章に導かれてイラストの木にさわったり、声をかけたり、つぼみをあたためたりしてページをめくっていくと、木に花が咲き、実がなり、葉は黄色く染まり、やがて散って雪が降り…。

美しい四季のめぐりを、読者みずから魔法をかけて楽しむ、参加型の絵本です。

(表紙絵、紹介文引用：ひさかたチャイルドHP)



対象年齢 3歳・4歳～

所蔵

大分市民図書館（J:COMホルトホール大分内）
大在公民館、東部公民館、野津原公民館

裏面につづく





あかね書房の「科学のアルバム」シリーズは、自然を愛する人々が心をこめてつくったメッセージです。本を開いて、未来ある子どもたちにふれさせたい生き生きとした自然に出会ってみませんか。

みらいさん

タイトル【科学のアルバム（植物編）】

サクラの一年
紅葉のふしぎ

出版社 あかね書房

作者 サクラの一年：守矢 登 著
紅葉のふしぎ：佐藤 有恒 著

日本の花を代表するサクラのひみつを、春夏秋冬をとおして探ります。葉の紅葉のしくみや花の種類なども紹介します。木ぎの葉には、どうしてあのような美しい色が結晶するのか。ケヤキの木を中心に、木ぎの一年を深い科学の目で追います。

（表紙絵、紹介文引用：あかね書房HP）

対象年齢 小学校低学年～

所蔵

大分県立図書館：子ども室、子ども参考
大分市民図書館（J:COMホルトホール大分内・コンパルホール分館）
南大分公民館



ナラの木は、良い環境では1000年以上も生き続けることができる木です。

ナラの木は成長速度が遅く、裂けにくく硬い性質から、江戸時代まで日本では使いやすい木材にすることが困難だったため、木材として利用されることはほとんどなかったそうです。

何百年の時間を重ねる中で起きる社会の変化と、それを受け入れ町や人を見守ってきた大きなナラの木の力強さを感じる絵本です。巻末に、「木と友達になる方法」が紹介されています。

タイトル 木は何を見てきたの？

出版社 化学同人

作者 シャーロット・ギラン 作
サム・アッシャー 絵
高部 圭司 訳

ハンターが森の中でシカを追いかけた時。農地のために木が切りたおされた時。産業革命の間に出現したスモッグや工場。丘の上にあるナラの木が見てきた、何百年にもわたって周りの環境が変化の様子を静かに描いた物語。

（表紙絵、紹介文引用：絵本ナビHP）

対象年齢 小学校低学年～

所蔵

大分県立図書館：子ども絵本
大分市民図書館（J:COMホルトホール大分内・コンパルホール分館）
大分南部公民館



砂漠だったアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴに木や植物を植え、アメリカ最大の公園「バルボアパーク」を作りあげたケイト・セッションズさんの実話です。

植物を愛するだけでなく、科学を学び、緑豊かな都市を作り上げるというケイトさんの姿から、諦めないこと・継続することの素晴らしさや自然の素晴らしさを実感できる一冊です。

みらいさん

タイトル 木のすきなケイトさん

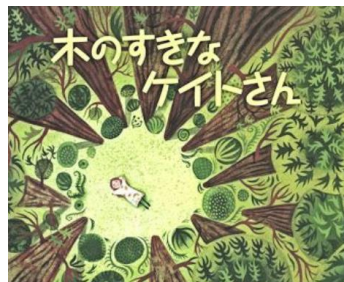
出版社 BL出版

作者 H・ジョセフ・ホプキンズ 作
ジル・マケルマリー 絵
池本 佐恵子 訳

「砂漠を緑の町にかえたある女のひとのおはなし」

ケイトは、森のなかで遊び、木がともだち。木の勉強がなによりすきな女の子です。大学を卒業し、教師となってサンディエゴで働くことになりましたが、赴任してはじめてみたその町は、木がほとんどない砂漠の町だったのです。1857年、サンフランシスコに生まれ、カリフォルニア大学で、女性としてはじめて科学の学士をとったケイト・セッションズ。彼女は、好きな木の勉強を続け、園芸家となり、当時砂漠の町だったサンディエゴを緑あふれる町に変えました。そんなケイトさんの半生を、シンプルな文章と美しい絵でたどります。

（表紙絵、紹介文引用：BL出版HP）



絵本 小学4・5年生～

所蔵

大分県立図書館：子ども絵本
大分市民図書館（J:COMホルトホール大分内・コンパルホール分館）
佐賀関公民館、鶴崎行政センター、大分西部公民館、大分南部公民館、植田行政センター



木や植物を守る仕事を紹介する絵本です。樹木医さんや研究者さんなど、植物の専門知識をもった人たちが木や植物を、そして私たちが住む環境や自然を守ってくれています。

タイトル しょくぶつのおいしゃさん まもるくん

出版社 フレーベル館

作者 Play set products 作・絵
制作協力 アース製薬株式会社

くまのまもるくんは、植物のおいしゃさん。ある日、遠くのかんかくやまの花が病気にかかっていると知り、まもるくんはたくさんのお薬をもって青い車を走らせる。かんかくやまには、ぐったりしたお花たちがいて...

（表紙絵、紹介文引用：フレーベル館、大分市民図書館HP）



対象年齢 4歳～

所蔵

大分市民図書館（J:COMホルトホール大分内・コンパルホール分館）
佐賀関公民館、大分東部公民館